

報道関係各位

飯	能	市					
記	者	発	表	資	料		
令	和	元	年	6	月	3	日

件 名 飯能市農林産物加工直売所の隣接地における実施事業について

飯能市農林産物加工直売所（以下「加工直売所」という。）につきましては、指定管理者の更新の方向性を一部見直し、加工直売所隣接地において実施する事業を決定するに当たり、本市初となるサウンディング型市場調査を実施することとし、事務手続を進めてまいりました。

市では、サウンディング型市場調査に係る実施要領の公表を本年 2 月に行い、民間事業者からのアイデア等の提案を受けるとともに、提案者との直接の「対話」を実施するなどし、加工直売所隣接地において実施する事業について、有効活用の可能性や市場性等の検証を行ってきたところです。

今回のサウンディング型市場調査では、加工直売所隣接地において実施する事業について、最終的に民間事業者 3 団体から、民間事業者ならではの発想やノウハウ等により、様々なアイデアをいただきました。また、併せて、加工直売所隣接地において事業を実施した場合の有効活用の可能性や市場性等につきましても、民間事業者との直接の「対話」により把握することができました。

こうしたサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、市として検討を行った結果、加工直売所隣接地において実施すべき事業を 7 つの項目としてまとめ、加工直売所隣接地における事業展開を図ることといたしました。今後、この 7 つの項目に沿って、提案されたアイデア等も踏まえ、名栗地域の創生につながる、より具体的かつ実現可能な事業内容を精査、決定するとともに、必要な手続を進めてまいります。

1 検討結果

市では、市の総合政策や、名栗地域の現状及び課題を踏まえ、「（１）観光的視点を取り入れた様々な体験を通じ、市内外から多くの者が集い、自然（森林、清流）とのふれあい、人々との交流のできる地域の交流拠点とします。（２）農業や林業に触れる機会を提供するなどし、地域の農林業の振興を図る拠点とします。（３）「北欧文化」を体感できる空間と機会を提供する拠点とします。（４）地域と連携し、地域とともに発展する、地域活性化の拠点とします。」の 4 つの運営方針を定め、サウンディング型市場調査を実施するとともに、調査結果を踏まえた検討を行い、加工直売所隣接地

において実施する事業について、次の７つの項目にまとめました。

(1) メッツァに訪れる来場者を名栗地域へとつなげるための宿泊事業

名栗地域については、特にアウトドア系の宿泊事業の市場性が高いことが分かるとともに、メッツァの来場者を山間地域に呼び込み、名栗地域を中心とした本市の魅力を十分に知ってもらうためには、宿泊事業が必要であることが把握できました。さらに実施に当たっては、今の名栗地域にはない、メッツァの北欧の雰囲気やオシャレ感といった共通のイメージや、交流人口の増加に重要となる話題性が求められます。

(2) 地域に交流人口を生み出し、交流・賑わいの場となる事業

飯能市を知らない人や興味のない人にも、自分にとって興味のあるイベントの参加を通して、本市を訪れてもらい、知ってもらうきっかけとし、そこから本市の魅力を感じてもらうことにつなげます。さらにそこから飯能（名栗）を好きになってもらうことで、リピーターの増加につながることが期待されます。特に話題性に富んだイベントなどは、交流人口を生み出すには非常に有効となります。

(3) 農林業の振興に資する事業

農林産物等の販売の場を拡充します。このことにより、地域の農林業の販売の場を増やすことにつながり、地域農林業の活性化に資するとともに、来場者へのサービス向上につながります。

(4) 「北欧文化」を体感できる空間と機会を提供できる事業

本市に今までなかった魅力の創出につながる北欧文化の体験を提供し、訪れた者への交流の機会を提供します。体験においては、間伐材の利用促進につながる仕組みなどを取り入れます。

(5) 地域の観光情報発信に関する事業

地域への経済波及効果を発揮するためには、加工直売所を地域の観光拠点として、他の観光資源へと結びつける役割を果たすことが重要となります。そうしたことから、名栗地域の他の施設への回遊を促進させるため、メディア、SNS等による地域観光情報の発信に加え、総合的な観光業務を行います。

(6) 地域と連携し、地域の活性化につながる事業

地域の施設利用の促進につなげるため、名栗地域の他のアクティビティの利用につながる仕組みを取り入れます。なお、地域活性化に関しては、加工直売所隣接地において実施する事業全てに通じるものであり、今後、地域と連携するための会議を開催するなどし、地域との連携の仕組みづくりを進めるものとします。

(7) 「食」に関する事業

観光的事業の展開を図るには、飲食の提供が重要となります。隣接地の利活用

に当たっては、建築物の設置に一定の制限があることなどを勘案しつつ、飲食の提供を行います。

2 サウンディング型市場調査結果の概要

サウンディング型市場調査結果の概要は、次のとおりです。

(1) 飯能市農林産物加工直売所の新たな運営に関するサウンディング型市場調査実施要領の公表及び提案書の提出

公表	平成 31 年 2 月 26 日
提案書の提出期間	平成 31 年 3 月 6 日～平成 31 年 3 月 29 日

(2) 現地案内に参加した団体数

6団体

(3) 提案を行った団体数

3団体

(4) 主な提案内容

- ・宿泊事業（グランピング、タイニーハウス、オートキャンプ、コテージ）
- ・各種イベント事業（集客性の高いイベントの実施、地域住民と連携したイベント）
- ・北欧文化を体験できる事業（サウナ）
- ・アウトドア体験事業（地域の観光資源の活用）
- ・食事の提供（バーベキュー、キッチンカー）
- ・農林産物などの販売
- ・観光拠点として、観光コンシェルジュの配置
- ・地域の観光施設、農林産物の生産者等、地域住民との連携に関する取組

(5) 個別対話の主な概要

- ・市場性
- ・実現性
- ・地域経済への波及効果
- ・ターゲット
- ・雇用の創出
- ・誘客の仕組み
- ・地域住民との連携
- ・公共交通の利用増加
- ・費用負担

(6)「対話」の実施

提案された内容に基づき、有効活用の可能性や市場性について、市と提案者が直接の「対話」を実施しました。

回	実施日	市（職員）	民間団体	備考
第1回	平成31年4月4日	14名	2団体	対話
第2回	平成31年4月5日	9名	1団体	対話
第3回	平成31年4月12日	14名	3団体	追加対話

担当者 農業振興課長 木崎
連絡先 TEL973-2111
内線606